



# 五高だより



情報満載の  
ホームページも  
御覧ください。

## 祝第七十二期生 卒業おめでとう！

三月五日(土)、うららかな日とで梅の花が満開となる中第七十三回卒業式を挙行しました。卒業生の皆さんがこの式を迎えられたのは、皆さんが三年間努力し続けてきた成果の賜物です。楽しいことや嬉しいことだけでなく辛いことや苦しいことがあった時に共有してくれた人や支えてくれた人がいたはずで、感謝することを忘れないでください。自分を大切にすることはもちろんのこと、思いやる心をもって接していただく。皆さんの可能



性は無限大です。何事にも恐れずチャレンジして諦めずに進んでください。

総合的な探究の時間に調べた地域の良さや特徴、関わったくださったお店の方とのつながりを今後も大切にしましょう。

五高の先生達は皆さんのことをいつでも応援しています。話したいことや困ったことなど何かを伝えたいことがあればいつでも来てください。

在校生の皆さんも進級・卒業に向け努力を続けてください。

### 検定試験にも

### 取り組んでいます！

一月二十一日(金)、一年生と二年生の全員が、英語検定試験を受験しました。四級・三級・準二級・二級と分けて実施しました。生徒の皆さん、全力を尽くしてください。これまで本校教員が、夏期講習、冬期講習を開き、その講習に毎回参加する生徒の姿もありました。毎週

## 地域の魅力を捉える 探究活動成果発表会実施

一月十九日(水)、三年生の生徒が、昨年度から総合的な探究の時間で取り組んできた「地域活性化」をテーマにした成果発表会を行いました。生徒は初めての取組でしたが、2年間友達と相談し準備をして臨むことのできた。地域の魅力を価値として捉えて地域を見つめ直すために、その価値をどう生かせば地域活性化につながるか。」を

考えました。①仮説を立てて、②検証し、③結果を考察して、④発表資料にまとめ、⑤発表資料を基に成果発表会で発表する。

の英検対策講座、前日の直前対策、二次試験に向けた面接対策講座、**Word**に入っている英検対策アプリや自分で購入した問題集・単語帳等を使って熱心に勉強していた生徒もいました。自分の可能性を拓くための努力ができるのはとても大切なことです。二月には漢字検定の全員受験を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症に伴うオンライン授業の実施期間とい

この探究の一連のサイクルをやり切りました。

生徒らは、「高校で初めて探究の授業をして、全部自分たちでテーマを考えたり、取材をしに行ったり、アポを取ったり、全部が初めての経験だったのでやりがいがあったと感じました。」「二回発表をしていい経験だった。この経験を生かしたい。」「あきる野市には良い所がたくさんあると思うのもっと知りたいです。」などの感想を持ってくれました。

今後も地域をテーマにした探究が進化できるようにしていきます。



うことで残念ながら中止となりました。

今後も、生徒の皆さんがそれぞれ目標掲げて、それに向けて努力していけるような機会を設けていきます。



## 新たな視点を！高尾山の取組から学ぶ

一月十三日(木)、アウトドアコース生徒らが、高尾山にて探究活動を実施しました。事前学習で、「①高尾山で感じた価値を地元地域に生かすことを考える。」

②ガイドウォークに参加することで、高尾山の魅力を肌で感じるとともに、「コミュニケーション能力を学ぶ」の二つのテーマを生徒に課しました。当日は、高尾山頂にて講師の方による「ガイドウォーク」を体験しました。

高尾山の歴史や薬王院、ムササビ、見える景色、野鳥や昆虫、植物などについて実際に移動しながら丁寧に教えてくださいました。インターネット上では分からないとても貴重な体験となりました。生徒らは「リフトとケーブルカーの二種類あるのはなぜか」などの疑問や「山の道の地図を作る」「五日市のガイドウォークをする」「道に「この山にいる動植物紹介」の看板を作りたい」「五日市の山の景色のマップを作ってみよう」など、地域に生かせるアイデアを様々考えていました。地域への貢献の第一歩を踏み出せるようにしていきます。

# 祝 ESS 国際交流部が最優秀賞を受賞

二月十一日(祝)、麗澤大学主催の「全国高校生プレゼンテーションコンテスト」が行われ、審査の結果本校の国際交流部は、全国から応募のあった六〇校の中で、最優秀賞を受賞しました。

大学から示されたテーマは「日本の当たり前と世界をつないで何ができるか」生徒たちは、日本人の「もったいない」の精神に着目した内容でした。ゴミ拾い等SDGsに因んだ活動をする中、自分たちで作詞し曲をつけてもらいその歌を世界に広げていこうという印象に残る発表でした。オンライン開催となりましたが、発表後、審査員からの質疑応答がありました。本番当日、全国から選抜された高校生の発表はどれも優れたもので、本校生徒は「自分たちは

無理だろうな」と思っていたようです。自分たちが「最優秀賞」に選ばれた時は「信じられない」と飛び上がって喜んでいました。顧問の中村先生は、プロジェクトに関わった生徒が、「自分ごと」として最後まで諦めずに粘り強く努力をしたことが何よりも嬉しかったと語ってくれました。



この受賞については産経新聞や西の風新聞にも掲載されました。彼らはまだ一年生。これを自信にして、現在取り組んでいるプロジェクトを社会や世界のためにより良いものにしていき、さらに成長していつか、ほしいと願っています。

二月十七日(木)、マネジメントコース及びアウトドアコースが探究活動成果発表会を実施しました。地域の方やコースの授業で関わってくださった三十名程度の方が来校してくださいました。



「一年間の振り返り」をまとめスライドで発表しました。多くの生徒が「就業学習」を印象に残った体験として挙げていました。単に仕事をやるだけではなく、お客さんや事業者等の「相手」を意識して行動をすることの難しさや新鮮さ、面白さを見出せたようです。アウトドアコースは「三年生で行う地域への提言」に向けた発表をしました。

## 地域の多くの方から応援メッセージ



「何気ない日常に疑問を」というテーマの下、「広い視野で地域を見て・知って・考える」ことからはじめ、徐々に「この場所を好きになってきた」「地域の方とともに盛り上げていきたい」と思うようになりました。生徒からは「本番は緊張したし最初早口になったけど自分の考えや意見を大人の人達にちよつとでも伝わったらいなと思いました。」などの感想がありました。

地域の方との意見交換を実施予定でしたが、感染症対策のため、地域の方々は生徒一人一人の発表に対して評価を記入していただくことができませんでした。次年度はこの一年間の成果を基に、地域に根差した活動を進め発信していきます。ぜひ「五高生は何している？」と興味を持っていただければ幸いです。

## 「のらぼう」順調に成長

柔らかな日差しから春を感じられる日が多くなりました。一時期はひどい状態でしたが、悲惨な状況でした。また、二月の雪や霜で地面にへばりつき耐えている姿もありました。ここ数日の気候で「のらぼう」はぐんぐんと成長しています。



3月5日



2月10日

### <東京都立五日市高等学校が目指す生徒像>

広い視野を持ちながら新しい社会に対応するとともに、地域貢献できる生徒、地域を愛し地域から愛される生徒

発行者 東京都立五日市高等学校 校長 久保田 聡

住所 〒190-0164 あきる野市五日市 894 電話 042-596-0176

ファクシミリ 042-596-1250

URL : <http://www.itsukaichi-h.metro.tokyo.jp/zen/index.html>

御意見や御感想はこちらへ→

